

# 土壌環境保全対策

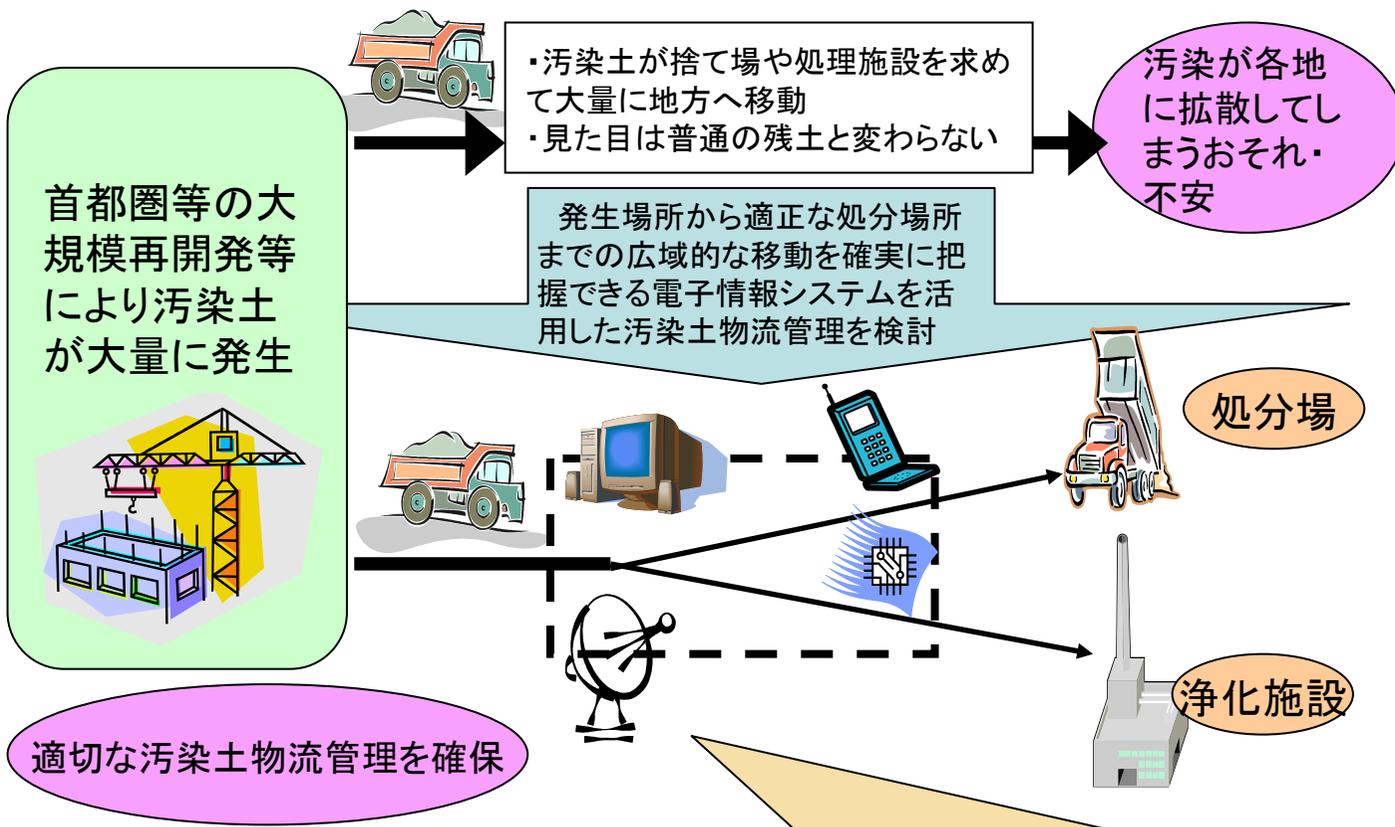
## 【主な予算措置】

搬出汚染土物流管理対策検討調査

19'予算(案)額11百万円(18'予算額0百万円)

首都圏等の大都市圏においては、移転した工場跡地の大規模な再開発などに伴い、地下階や地下通路とすることになる部分等から大量の汚染土が掘削除去され、捨て場や処理施設を求めて大量に地方へ移動している。

ところが、これらの汚染土は見た目は普通の残土と変わらないため、発生場所から適正な処分場所までの広域的な移動を確実に把握できるようにしなければ汚染が各地に拡散してしまうおそれがある。そのため、電子情報システムを活用して搬出汚染土の物流を管理することができる可能性がある各種技術の情報を整理解析し、汚染土の物流管理システムに必要な性能基準を明らかにすることにより、適切な物流管理の確保を図る。



- ・汚染土等物流管理に用いることができる可能性が高い既存の物流管理システムの実態調査
- ・現場試行調査
- ・搬出汚染土管理システムの性能基準の検討

# その他の主な土壌環境保全対策

## 汚染土再生利用促進検討調査

19' 予算(案)額12百万円(18' 予算額0百万円)

都市の中心部の再開発等においては地下の高度な利用が行われる事例が多いため、掘削した汚染土を浄化しても元の発生場所に埋め戻すことはできない。また、工場跡地などの郊外部における土地改変に伴って生じた汚染土についても、いわゆる「ブランドもの」として周辺住民から嫌われ、元の場所に返すことが難しい例が多い。

本来、浄化等が行われた後の土、砂、れき、溶融物等（以下、再生物）は、例えば骨材としての製品規格等に適合していれば、安全上も製品品質面からも使用に問題はないはずである。ところが、環境安全面からの再生品の品質確認方法等の目安がないことから、利用先が要求する粒度や強度等の物理的品質をクリアした再生物であっても環境保全上問題がないと信じてもらうことが難しい。

このため、環境安全上に問題がない品質にまで確実に浄化等が行われていることの確認、検査、評価の技術の開発を促進するとともに、利用する場所やその周辺の住民の安心を確保することができ、再生物の利用を促進するための指針を作成するものである。

## PCB汚染土壌対策ガイドライン策定調査

19' 予算(案)額19百万円(18' 予算額0百万円)

今後、PCBを含む変圧器等の処理が本格化することに伴い、これまでPCB廃棄物を保管していた場所においてPCB汚染土壌が多く発見されることが想定される。

このため、必要な調査・検討を行い、PCB汚染土壌の調査・対策手法をとりまとめたガイドラインの作成を行う。

## 油汚染等汚染土壌対策促進費

19' 予算(案)額22百万円(18' 予算額20百万円)

平成17年度に作成した「油汚染対策ガイドライン」等が土壌汚染対策にどのように活用され、効果を上げているか検証し、課題について改善することを通じて、一層の汚染土壌対策を促進する。

## 土壌環境リスクコミュニケーターの登録・研修等事業

19' 予算(案)額19百万円(18' 予算額0百万円)

土壌汚染のおそれがある土地についての調査や対策を円滑に進めるためには、土壌汚染対応の説明に対する土地所有者等の不安を払拭し、地域の関係者に、説明者の中立性、公平性の立場からの信頼を得ながら土壌汚染の現状と対策について情報伝達を円滑に進める、リスクコミュニケーションの推進が必要。

このため、長年土壌汚染調査・対策に従事して一線を退く方々（特に団塊世代）の知識と経験を活かし、土壌汚染の調査・対策の現場のリスクコミュニケーションへの活用と人材育成の推進を図る。

具体的には、リスクコミュニケーションガイドラインの作成、人材育成プランの作成、人材登録・派遣・活用システムを検討・整備する。

# 化学物質対策

## ダイオキシン類対策に係る小型焼却炉ガイドライン策定事業

19' 予算(案)額5百万円(18' 予算額0百万円)

平成17年6月に変更を行ったダイオキシン類の削減計画に設定されている削減目標（平成22年において排出総量を平成15年比で約15%削減）達成のために、未規制小型焼却炉等に対して削減方針に係るモニター調査、環境にやさしい廃棄物の焼却指針の策定を行う。

循環型社会形成  
3R推進  
廃棄物発生抑制  
プラなど分別と  
リユースリサイクル

未規制小型焼却炉等  
(ダイオキシン類削減計画の中で最大のターゲット)

自主的に減らす試行錯誤

モニター応募施設

繰り返し

簡易測定法で測定  
(低廉・迅速・環境省告示で指定済み)

小型焼却炉  
からの  
ダイオキシン類  
対策指針

### 指針

各モニター施設の集大成：各結果をもとに焼却炉の維持管理のコツ

- ①簡易測定法の活用方法
  - ②燃やすもの(ゴミを減らす、ゴミをまとめる、分別、乾燥)
  - ③燃やし方(点火から昇温、安定燃焼、炎の見方) など
- 内容を分かりやすくパンフレットにして配布

効果1: 小型焼却炉の  
対策推進

効果2: 簡易測定法の  
普及・活用

## 花粉観測体制整備費

19' 予算(案)額102百万円(18' 予算額110百万円)

花粉観測システムは花粉飛散数をリアルタイムで収集し、気象のデータと合わせたデータをホームページから情報提供を行うとともに、本システムから得られたデータ等から花粉の飛散実態を把握する。



山間部や都市部に設置した花粉自動計測器により、リアルタイムで花粉飛散数を測定するとともに、そのデータを自動送信しており、常に最新の情報がホームページからご覧いただけるようになっている。



Serv  
er

九州地域



# 農薬飛散リスク削減に向けた取組み

## 【主な予算措置】

農薬吸入毒性評価手法確立調査 19'予算(案)額109百万円(18'予算額0百万円)

環境省では平成17年度から、「農薬飛散リスク評価手法等確立調査」を開始し、街路樹や公園等の市街地において使用される農薬の飛散リスクの評価・管理手法について検討しているところである。

適切な飛散リスクの評価・管理手法を確立するためには、当該事業による曝露量の評価のみならず、毒性評価の結果に基づいたリスク管理の目安となる値（指針値）を適切に設定することが重要である。

このため、市街地での使用実績の多い農薬等をモデルとして吸入毒性試験を実施するとともに毒性評価を行うことにより吸入毒性評価手法の確立を図ることとし、以下の試験等を実施する。

- (1) 吸入毒性試験の実施
- (2) 毒性評価の実施

## リスク評価

農薬吸入毒性評価手法確立調査  
(H19~H21)

～毒性評価手法の検討と毒性指針値の設定～

農薬飛散リスク評価手法等確立調査  
(H17~H21)

～実態把握(暴露量モニタリング・散布実態調査)～

- (1) 吸入毒性試験の実施
- (2) 毒性指針値の設定

毒性試験は  
残留実態を  
踏まえて実  
施する必要  
がある

吸入毒性指針値の設定

- (1) 農薬散布実態把握
- (2) モニタリング調査
- (3) 毒性指針値を満たすあるいはよりリスクを低減するための剤型や使用方法の探索

望ましい剤型や使用方法の提言

## リスク管理

農薬散布によるリスク削減のためのマニュアルの策定



農薬散布の適正化による国民の健康保護の確保

## その他の主な化学物質対策

### POPs条約に基づくダイオキシン類等非意図的生成物に係るBAT／BEP 推進事業 19'予算(案)額32百万円(18'予算額29百万円)

ダイオキシン類等、物の燃焼等により非意図的に生成される物質については、残留性有機汚染物質(POPs)に関するストックホルム条約において、締約国は排出削減に係る行動計画の作成及び実施、利用可能な最良の技術(BAT)及び環境のための最良の慣行(BEP)の利用の要求又は促進等が求められている。

このため、我が国としてもこれまでの取組成果を踏まえて、平成19年度に開催されるPOPs条約第3回締約国会議で採択される予定の「BAT／BEP指針」に基づくBAT及びBEPの国内の利用促進を図るとともに、途上国におけるダイオキシン類等の削減に向けた取組の技術促進に協力していく。

### 水環境における有害物質リスク管理手法検討調査

19'予算(案)額80百万円(18'予算額56百万円)

水環境を経由する化学物質のリスクを的確に管理(目標設定、環境監視、排水規制、面源対策等)していくためには、環境基準の候補ともなる要調査項目等を柔軟に見直し、多種多様な物質について調査や対策の取組優先順位付けを行って、環境中の存在状況の把握など必要な情報を整備していくことが基本施策として継続的に必要である。

また、これに加えて、平成18年4月の中環審答申「水生生物保全に係る排水規制等の在り方について」において、新たに「一律排水基準の設定に伴う暫定排水基準の設定に関し、技術的指導、設備投資等の経済性、適応可能な廃水処理技術の動向等を踏まえた検証及び非特定汚染源の影響を考慮するため、マテリアル・フローの解明が必要」とされ、暫定排水基準を5年後に見直すまでに一定の成果が求められているところである。

このため、水環境を経由した多種多様な化学物質が人の健康や水生生物の保全に有害な影響を与えるおそれを着実に低減させるため、最新の知見を速やかに反映し、関係施策・事業と円滑に連携できる、系統的・効率的な仕組みを構築する。